

子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種について

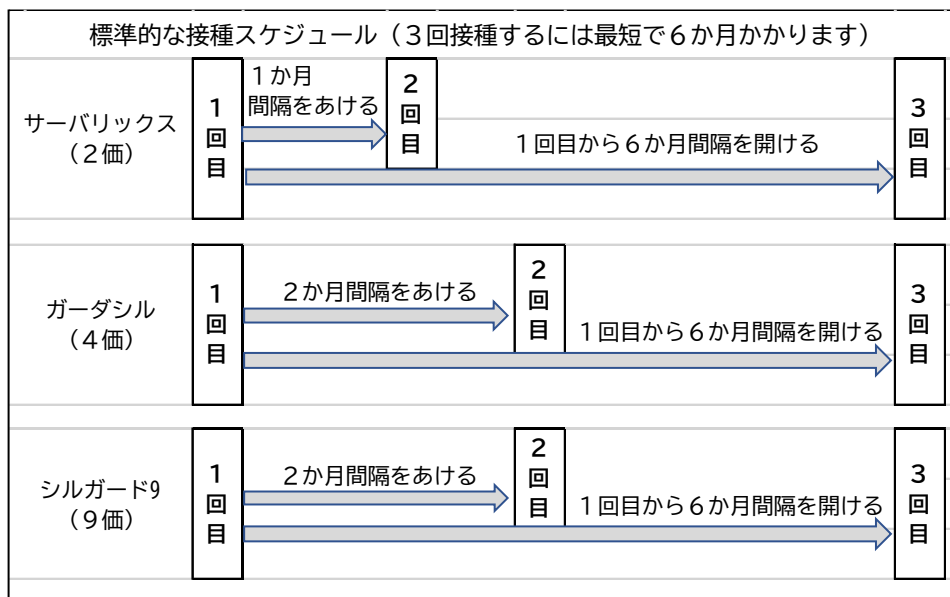
斜里町では、国の勸奨のもと女性の健康を守るために、子宮頸がん予防ワクチン（以下「HPV※ワクチン」）を実施します。

これまでに接種機会を逃した方を対象に対象年齢を超えて接種（キャッチアップ接種）を行います。

※「ヒトパピローマウイルス」のこと

また、令和5年4月から9価のHPVワクチンも定期接種となりました。詳しくは同封の書類をご覧ください。

- 1 対象者 平成9年4月2日から平成19年4月1日生まれで斜里町に住民票のある方
- 2 接種費用 無料
- 3 接種期間 令和7年3月31日まで（定期として無料で接種できる期間）
- 4 接種方法 HPVワクチンにはサーバリックス(2価)とガーダシル(4価)とシルガード(9価)の3種類があり、同じワクチンで3回の接種を受けます（筋肉注射）。



※新型コロナウイルスワクチンとHPVワクチンとの接種間隔は、前後13日以上が必要です。接種した日の2週間後と同じ曜日から接種できます。

- 5 接種場所 ※やむを得ず、下記以外で接種を希望する方は、ぼると21にお問合せください。

	斜里国保病院（産婦人科外来）	水柿内科医院
接種日時 （診療日）	広報しゃり または 斜里国保病院ホームページで ご確認ください	月曜日～金曜日（祝日は休み） （午前）9時～11時30分 （午後）13時30分～16時30分 ※金曜日午後は16時まで
予約の有無	予約が必要	予約が必要
電話番号	23-2102	23-5275
持ち物	母子健康手帳、健康保険証、同封した予診票	

裏面もご覧ください

6 子宮頸がんとHPVワクチンの効果について

子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんです。日本では毎年、約 1.1 万人の女性がかかる病気でさらに毎年、約 2,900 人の女性が亡くなっています。HPV ワクチンは、子宮頸がんの原因の 50～70%である HPV16 型と 18 型の感染を防ぐことができると言われています。

7 HPV ワクチンの副反応について

HPV ワクチン接種後には、多くの方に、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれに、重い症状（重いアレルギー症状、神経系の症状）が起こることがあります。

ワクチン名	サーバリックス（2価）	ガーダシル（4価）	シルガード9（9価）
製造販売元	グラクソ・スミスクライン株式会社	MDS 株式会社	MDS 株式会社
副反応の発生頻度	50%以上	疼痛・発赤・腫脹、疲労感	疼痛
	10～50%	掻痒、胃腸症状、筋痛・関節痛、頭痛等	腫脹、紅斑
	1～10%	じんましん、めまい、発熱等	掻痒、頭痛、発熱
	1%未満	注射部位の知覚異常、感覚鈍麻、全身脱力	めまい、腹痛・下痢、硬結 四肢痛等
	頻度不明	四肢痛、失神、リンパ節症	疲労・倦怠感、失神、リンパ節症、筋肉痛、関節痛、嘔吐等

※すでに1回目、2回目の接種をされている方は同じワクチンの接種となります。

8 予防接種被害救済制度

対象の期間に接種を受けて、重篤な健康被害が発生し認定された場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。

9 HPV ワクチンを自費で接種した方への費用助成について

積極的勧奨を控えていたことにより、接種機会を逃し、対象年齢を超えて、自費で接種をされた場合に、接種にかかった費用の一部を助成します。詳しくは、ぽると21までお問合せください。

10 検診について

20歳になったら、ワクチンを接種している・していないにかかわらず、子宮頸がんを早期発見するために、子宮頸がん検診を定期的（2年に1回）に受けることが重要です。

斜里町のホームページに、HPV ワクチンに関する詳細な情報や、厚生労働省が作成したリーフレット等を掲載していますので、あわせてご覧ください。

【お問合せ先】 斜里町保健福祉センターぽると21 健康子育て課健康支援係 ☎22-2500